

らいふ

2018.7 No.78



「六花の森 山野草の森(帯広)」 白石 セツ子

- わかりやすい医学教室(麻醉科)
「AED を用いた心肺蘇生について」
- もっと知りたい
「入退院支援室について」
- 歯科シリーズ
- ホスピタメール

ホームページ
<http://www.ojihosp.or.jp/>

— 医療法人 王子総合病院理念 —
「私たちは、みなさまの健康、医療、
介護を信頼と愛情で支えます。」

王子総合病院理念

みなさまの人格を尊重し、安全で最善の
医療を提供します。

基本方針

1. みなさまの意思(自己決定権)を尊重した、安全で信頼される医療の提供に努めます。
2. 地域基幹病院として、職員の研鑽に努め、人間愛に満ちた高度な総合的医療の提供に努めます。
3. 地域住民や医療機関との連携を緊密にし、地域の医療、福祉、保健の向上に努めます。

わかりやすい医学教室

「AEDを用いた心肺蘇生」

について

麻酔科 長谷川 源

特集

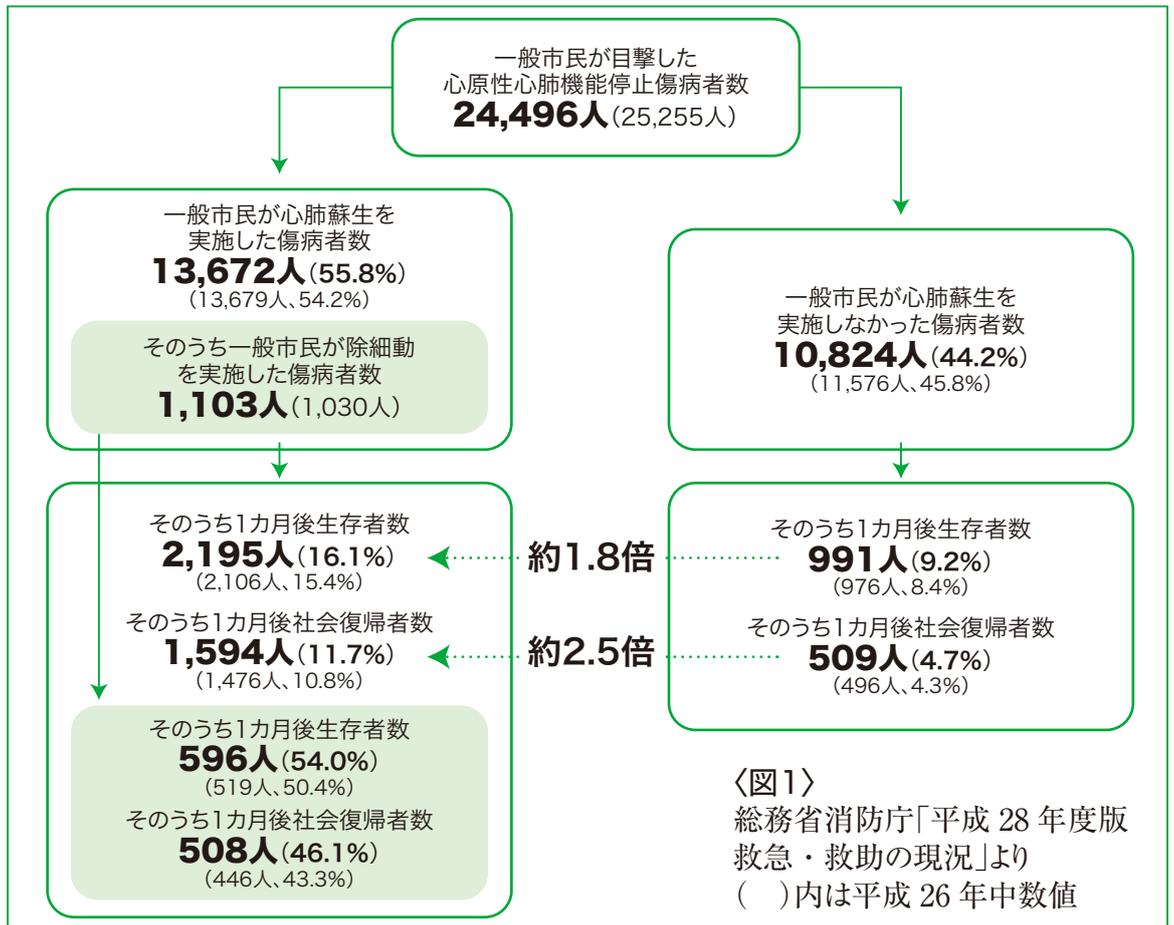


長谷川 医師

AEDは自動販売機や公共の場で見かけたことがあると思います。しかしながら、実際に使用した方は少ないと思います。今回はAEDの使用方法についてお話しさせていただきます。

AEDは平成16年から非医療従事者でも使用可能となり、10年以上が経過しました。平成27年度のデータでは、一般市民の方が目撃した心原性心肺機能停止傷病者のうち、心肺蘇生を実施した傷病者数は56%となっており、除細動（電気ショックの使用）した例も1103人含め傷病者は生存率が1.8倍になりました。（図1）

また、吉村らの報告によると青森県の八戸市において、公共のAED使用の際に、26.7%は偶然



居合わせた医療従事者が行ったというデータがあります。人口密度の低い地域における院外心停止に対する公共のAED使用の検討より
つまり約75%は市民の方だけ

でAEDを使用していることになり
ます。
急にやれと言われても…。
備えあれば憂いなしです。

●AEDが必要な場面

誰かが倒れている！ 目の前で人が倒れた！

そんな時は自分自身の安全を確保し、声かけや肩叩きで反応があるか確かめます。

―肩を叩いても反応がない。呼吸も止まっていそう。

この時はまず、「誰か来て！」と人を集めます。

1人に119番通報を依頼し、もう1人にAEDがあれば持つてくるようお願いします。心肺蘇生の方法等を電話で指示してくれるので、電話をつないだ状態にしてください。



●まずは胸骨圧迫

倒れている方の胸とお腹の動きを観察して呼吸を確認します。(10秒以内)。呼吸がない、もしくは

は普段通りの呼吸でなければ心停止と判断します。

―ほとんど呼吸していない。直ちに胸骨圧迫を開始します。(図2)

圧迫位置は胸の真ん中、胸骨下の半分。強く(5〜6cm沈むまで)、速く(100〜120/分のテンポで)、絶え間なく。

●AEDが到着した!

①AEDが到着したらすぐに電源を入れます。機種によっては、AEDのフタをあけると自動で電源が入るものもあります。(図3)

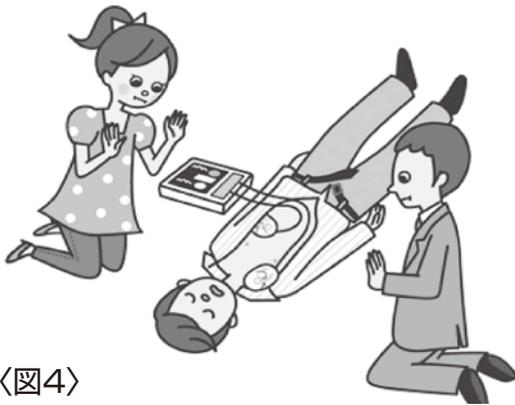


②AEDのケースに入っている電極パッドを素肌に直接貼り付けます。

●安全確認をして 除細動ボタンをON

③「離れてください。心電図の解析中です」との音声メッセージとともに、AEDが自動的に解析を始めます。

④電気ショックが必要な場合は「ショックが必要です」と音声でその必要性を教えてください。周囲の人が倒れている人に触れていないことを確認して、ショックボタンを押します。(図4)



⑤電気ショックの後は直ちに胸骨圧迫を再開します。AEDの指示に従い、約2分おきに心肺蘇生とAEDの手順を繰り返します。AEDはこの電気ショックの適応の有無を自動的に判断してくれま

す。電気ショックが必要でない場合、「電気ショックは不要です」と指示をします。

「電気ショックは不要です」＝「心臓が動いている! 回復した!」ではありません。胸骨圧迫を続けてください。

以上が初期対応です。

ポイントは

- ・すぐに胸骨圧迫
- ・人を集める

です。
非医療従事者向けの講習がありますのでお薦めです。救急医学会の市民のための心肺蘇生から一部引用しておりますので、そちらもご覧ください。

も

つ

と

知

り
たい

入退院支援室 について

当院では、入院前の患者さんが安心して入院生活が送れるように入院支援コーナーを、また、入院中の患者さんが退院後安心して療養生活を送れるように退院支援室を設置しております。

この度3月21日に組織改編し、入退院支援室として、入院前から退院後までの療養生活を二元的に支えられる取組みをはじめました。

今回は入院支援部門・退院支援部門の活動についてお知らせいたします。

✳️入院支援コーナー✳️

平成29年10月2日(月)に「入院支援コーナー」が開設されました。現在、入院が決定した外来の時点から、患者さんやご家族の方と

入院前の不安・疑問など質問への対応や、入院に向けて心身の準備ができ、入院中・退院後の生活がイメージしやすいような説明などを行っております。

患者さんの情報を事前に頂く

ことで、在宅と病院を繋ぎ、継続性のある安心で安全な医療・看護が受けられるよう取り組んでいきたいと考えています。

入院前から関わらせて頂くことで、患者さんの基本情報、病歴や服薬歴、家族構成、自宅での生活状況、食事、リハビリなどの情報が、事前に電子カルテへ入力でき、また必要時関連部門へ事前につながるため、病棟担当の看護師、薬剤師、栄養士、リハビリセラ

ピストは、入院前から患者さんの状態を理解し、入院初日から厚い医療・看護を提供することが可能となります。

患者さんは、外来診察時に医師から入院を告げられた後、検査や会計の待ち時間を利用して、1階会計窓口の近くに設置された「入院支援コーナー」を訪問して頂きます。

現在の対象は、3日以上入院する予約の入った、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、血液腫瘍内科、外科、心臓血管外科、整形外科、脳外科、泌尿器科の患者さんとなっています。

入院支援コーナーは常駐する看護師が3人体制で、平日8時30分から16時50分まで対応しています。

入院にあたって、わからないことや不安な事などについて看護師が相談にのり、安心して安全に治療や検査が受けられるよう患者さんやご家族のサポートをいたします。



●入院支援コーナーで 行われること

- ▽手術・検査・治療等の
同意書の確認
- ▽手術前の検査の説明や
検査予約の確認
- ▽入院日時の確認と
ご案内方法
- ▽入院の準備としてご用意
いただく必要物品等の説明
- ▽入院生活に関しての
オリエンテーション
- ▽患者さんの基本情報(日常
生活や連絡先など)の確認
- ▽現在服用している内服薬・
内服状況の確認
*「おくすり手帳」を
お持ちください
- ▽入院前の身体状況・在宅
リハビリなどの確認
- ▽お食事状況・栄養状態
の確認
- ▽入院前の不安や疑問など
ご質問への対応
- ▽その他必要時
関連部門へ連絡

★退院支援部門★

●退院支援とは

退院される時、症状が軽快して入院前と変わりない生活を送ることができる方もいらっしゃる。一方で、疾患や障害を抱えることにより、今までの生活が成り立ちにくくなる患者さんも多くいらっしゃいます。

退院支援とは、退院後に入院前の生活を送ることが困難になった方たちに、サービスを調整することなどで、療養生活を送ることができるよう支援することを目指しています。

具体的には、次のような支援を行っております。

▽入院により身体能力が

低下した:

地域のケアマネジャーと協力し、介護保険を利用して訪問介護などのサービスの調整を行ったリ、リハビリを目的とした転院や施設入所などの調整をします。

▽継続的な医療処置が

必要になった:

先程と同じように介護保険

サービスなどを利用するなどして、訪問診療や訪問看護を利用して安心して自宅で生活できるよう環境を整えたり、医療処置の内容によっては長期的に療養が可能な医療機関の紹介を行います。

●当院での退院支援の取り組み

当院では、入院前後に患者さんやご家族に対し、入院前の生活状況などを確認させていただき、退院時に支援が必要と思われるかどうかの検討を行います。

その後、支援が必要と思われる患者さんについて病棟毎に退院支援のカンファレンスを行い、多くのスタッフから情報を収集し、今後の療養先やその方法などについて検討を行っています。

そして、患者さんやご家族の今後の生活の意向などを確認して、在宅サービスの調整や施設や医療機関の紹介を行っています。

●おわりに

我が国では在宅医療・介護が積極的に推進されています。

わたしたち、入退院支援に関

わるスタッフも、患者さんが住み慣れた家・地域で安心して療養・生活ができるよう、支援をしていきたいと思っております。



「がん相談支援センター」「がん看護相談」をご活用ください

当院はがん拠点病院として、がんに関する情報提供、相談を行っています。
センターでは、がん医療に詳しい認定看護師や生活全般の相談ができるソーシャルワーカーが相談員として対応しています。相談方法は面接、電話を問いません。
患者さんやご家族のほか、地域の方々はどなたでも無料でご相談できますので、ぜひご利用ください。

がん相談支援センター (月～金)

相談時間▷8:30～16:50
電話:0144-32-8111
(内線661・662)

がん看護相談(月～金) エントランスホール6番窓口 相談時間▷10:00～11:30
13:30～14:30

がん患者交流サロン「いずみ会」のお知らせ

「がん患者交流サロンいずみ会」はがん患者さんとご家族の集う場所です。

- 対話を通し、不安や悩みを緩和する場所
- 患者・ご家族同士が、親睦を図る場所
- がん医療に関する情報交換が出来る場所

がん医療に対する情報交換や、同じ境遇の方々との対話を通し、よりよく過ごすきっかけを見つけませんか。

時間▶13:30～15:00

★13:30～14:00ミニレクチャー
★14:00～15:00おしゃべり会

場所▶王子総合病院 がん相談支援センター
参加費▶無料 ※直接会場にお越しください。

問い合わせは電話**0144-32-8111**(内線661・662)
がん相談支援センター(担当:深田、東倉)

開催日	ミニ講座と交流会を組み合わせ開催
8月14日(火)	がん治療とリハビリテーション～家でできる体力づくり～
9月11日(火)	抗がん剤治療中の生活～皮膚・爪の障害について～
10月9日(火)	がんの治療～放射線治療って?～

糖尿病教室のお知らせ

下記の日程で開催します。
どなたでも参加できます。

参加費
無
料

お気軽にご参加ください(第3木曜日)

○開催日:平成30年(第3木曜日)
8月16日(木)
9月20日(木)
10月18日(木)

○時間:午前10時30分～
○場所:王子総合病院 講堂(3階)
○講師:医師、理学療法士、薬剤師
管理栄養士、看護師
歯科衛生士、臨床検査技師

※直接会場において下さい。
※講師の都合により開催中止の場合もありますので
電話にてご確認ください。

問い合わせ先

療養指導室: ☎0144-32-8111(代)内線660

表紙写真の募集

*条件

- 1人何点でも結構です。
- 風景写真(人物が写っていないもの)
- カラー写真
- 原則として応募写真は返却いたしません。
(返却ご希望の方はお申出下さい。)

*応募方法

- 写真の裏にタイトル、住所、氏名、電話番号を記入願います。
- 提出先は「らいふ」事務局まで。
- 採用の方には「らいふ」郵送にて発表します。
お写真下にお名前を掲載させて頂き、粗品を進呈いたします。

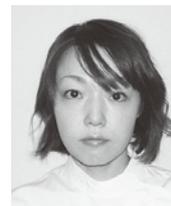
歯科治療では、歯の詰め物や被せ物、入れ歯などあらゆる物に金属が使われており、その金属が原因で金属アレルギーを引き起こすことがあります。

歯科金属による金属アレルギーはお口の中の粘膜が荒れるだけではなく、金属が触れていない全身にもかゆみや湿疹などの症状が出る事もあり、症状の原因が歯科の金属だと気付かずに苦しんでいる人も少なくありません。

体内で蓄積された金属が原因で脳や肝臓で炎症が起こると、頭痛やめまい、集中力や記憶力の低下、髪の毛が抜けてしまう脱毛症も報告されています。

歯科治療で使われる金属はアレルギーを起こしやすい金属が多く使われており、治療法としては原因である金属をすべて取り除くことが必要となります。プラスチックやセラミックなどアレルギーを起こさない材料で治療を施すことにより、劇的に改善するケースが多いです。治らない皮膚疾患をお持ちの方、原因不明の体調不良で悩んでいる方は、もしかしたら歯科金属アレルギーが原因かも知れません。一度、歯科医院で相談してみたいかがでしょうか。

横井記



歯科衛生士
横井友美



■診療科外来受診受付時間 〈2018年7月現在〉

※新患受付は各科 <午前>8:30~11:00 <午後>13:00~15:00

※再来機受付時間 <午前>7:00~11:30 <午後>12:15~15:00

※再診の受付時間は各科毎に異なりますのでご注意ください。

診 療 科	午 前	午 後
内 科	休 診	休 診
循環器内科	月~金 ※再診は11:30までの受付	水
消化器内科	月~金 ※再診は11:30までの受付	なし
呼吸器内科	月~金 ※再診は11:30までの受付	月~金 (火曜・水曜日は予約患者のみ)
血液腫瘍内科	月~金	月~木
外 科	月、水、金 ※再診は11:30までの受付 火、木 ※再診は11:00までの受付	月、水、金
心臓血管外科	月、水、金 ※再診は11:30までの受付	金(静脈瘤外来のみ)
脳神経外科	月~金 ※再診は11:00までの受付	月、火、木、金(新患・予約患者のみ) 水(新患のみ)
神経内科	月、水、金 (医療機関からの紹介予約のみ)	なし
整形外科	月~金 ※再診は11:00までの受付	月、木(スポーツ外来のみ)
小 児 科	月~金 ※再診は11:30までの受付	月、金 (火~木は一般外来休診です)
耳鼻咽喉科	月~金 ※再診は11:00までの受付	金(再来患者のみです。新患、紹介患者の受付はできません)
泌尿器科	月~金 ※再診は11:30までの受付 ※新患は紹介状が必要です	火、木(予約患者のみ)
産 婦 人 科	月~金 ※再診は11:30までの受付 ※金曜日 産科受付 8:30~10:00	木 1カ月検診(産後検診)のみ
眼 科	月~金 ※再診は11:00までの受付	水(予約患者のみ)
皮 膚 科	月、水、金 ※再診は11:00までの受付 ※新患は紹介状が必要です	なし
麻 酔 科	月、水、金 ※再診は11:00までの受付	なし
放射線治療科	月~金 ※再診は11:30までの受付	月~金(予約患者のみ)
歯科・歯科口腔外科	月~金(予約患者のみ) ※再診は11:30までの受付	月~金(予約患者のみ)

看護の日

近代看護を築いたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなみ、5月12日を看護の日に制定されました。今年度当院では、5月11日に記念行事を行いました。

ふれあい看護体験では、市内の看護師をめざす高校生11名が参加し患者さまと貴重な時間を過ごしました。

エントランスホールでは、健康チェック・フットケアコーナーなど「看護の日」を盛り上げるイベントを行い、沢山の患者さまに来ていただきました。



採血・採尿自動受付機導入

3月26日より採血室に採血業務システムが導入されました。

自動受付機は患者さまが診察券を差し込むだけで採血・採尿の受付が可能で、アニメーション画像表示と音声でわかりやすくご案内し、採血の整理券と併せて採尿カップも発行することができます。

また採血台には、採血取り違い防止のため患者照合システムを導入し、外待合には採血待合ディスプレイに整理券番号を表示して採血状況がわかるようになりました。患者さまにスムーズに採血していただけるよう改善していきますので、ご協力よろしくお願いいたします。



ケアライフ 夏祭り

7月7日(土)に第21回ケアライフ王子夏祭りを開催いたしました。

小雨が降り、肌寒さを感じる日でしたが、多くのボランティアやご家族様のご協力により、盛会のうちに終えることができました。

ステージでは、職員による「ジングスカンダンス」のコミカルな踊りや衣装で会場を湧かせました。外部余興では、ジャズミンのお二人による二胡の演奏で、会場が優しく包まれるような鮮やかな音色をお聞かせいただきました。また、ホッキ舞桜会の皆様には、苦小牧を代表する踊りの「苦小牧ホッキ音頭」で祭りを盛り上げていただき、ご来場の皆様にお楽しみいただくことができました。

皆様のご協力、誠にありがとうございました。



予防健診のお知らせ

- 健診日：月曜から金曜日
- 時間：午前8時～12時頃まで

1. 一般健診 22,831円
2. 日帰り人間ドック 30,240円
3. 追加項目
 - ①乳がん検診 (2方向 5,657円・1方向 4,629円)
 - ②子宮がん検診 5,997円
 - ③PET-CT検診 94,629円
 - ④その他
4. その他

お気軽に
お問い合わせ下さい

申込み・問い合わせ先

健診センター：
☎0144-32-8111(代)
内線 295・296

「らいふ」の掲載内容についてご意見、ご要望がございましたら遠慮なく事務局までお申しつけ下さい。